

委託業務処理要領

この要領は、委託契約書第 1 条第 1 項に基づき、令和 6 年度北海道立旭川子ども児総合療育センター空調衛生設備等運転管理業務の実施に関し必要な事項を定める。

第 1 委託業務の処理に当たっては、施設設備の善良な管理、庁舎内の温度管理、設備の適正な維持及び公害防止に努力し、最も経済的な運用に努めなければならない。

第 2 業務内容

- 1 真空式温水発生機、空調機器及び付属機器、ロードヒーター・ルーフヒーターの運転及び点検保守管理
- 2 空調温度の適正管理
- 3 オイルタンクの点検
- 4 給排水設備の保守管理
- 5 給湯設備の保守管理
- 6 併設の旭川養護学校の暖房設備・外調設備・給水及び給湯設備の運転・保守点検
- 7 医療ガス設備の保守点検
- 8 地下ピットの排水ポンプ及びルーフドレンの点検清掃

第 3 業務時間及び配置人数

空調衛生設備運転監視・保守業務

- | | | |
|---------------|---------------|------------------------|
| 5 時 0 0 分から | 8 時 4 5 分まで | 1 名以上 |
| 8 時 4 5 分から | 1 7 時 3 0 分まで | 2 名以上（休憩時間 1 時間を除く） |
| 1 7 時 3 0 分から | 2 2 時 0 0 分まで | 1 名以上 |
| 2 2 時 0 0 分から | 5 時 0 0 分まで | 1 名以上（宿直体制等により非常時に備える） |

第 4 設備等の概要

別紙 2「設備等の概要」のとおり

第 5 業務の処理方法

1 一般事項

業務の処理に当たっては法令・規則を遵守し、事故防止及び安全管理に努めなければならない。

2 運転管理・保守点検

真空ヒーター、空調機器（加湿器等の関連機器を含む）、ロードヒーター及びルーフヒーターの運転管理及び保守点検は、次に定めるところによる。

- (1) 運転に当たっては、事故及び災害の防止に万全の注意を払うとともに、常に安全であるよう点検整備するものとする。
- (2) 運転・監視の範囲
 - ア 設備機器の起動・停止の操作
 - イ 設備運転状況の監視又は計測記録
 - ウ 室内温度管理と最適化のための機器の制御、設定値調整
 - エ エネルギー使用の適正化
 - オ その他委託者の指示する事項
- (3) 点検の範囲
 - ア 各設備の点検の周期等は、別紙 3「定期点検一覧表」に示すとおり。
 - イ 主要な設備機器の設置場所は毎日定期的に巡回し、機器の異常の有無を点検すること。
なお、本業務において点検等を行う設備以外の機器等であっても、異常を発見した場合は、業務担当員に報告すること。
- (4) 保守の範囲

運転・監視及び日常点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。

 - ア 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
 - イ 取付不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
 - ウ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
 - エ 次に示す消耗部品の交換及び補充
 - (ア) 潤滑油、グリス、充填油等
 - (イ) ランプ類、ヒューズ類

- (ウ) パッキン、Ｏリング類
 - オ 接触部分、回転部分等への注油
 - カ 軽微な損傷がある部分の補修
 - キ 塗料、その他の部品補修（タッチペイント）、その他これらに類する作業
 - ク 消耗品の在庫管理
 - ケ 保守で生じた廃棄物処理
 - コ 屋外に設置してるエアコン室外機に係る除雪・氷の除去（11月1日～3月31日）
 - サ その他委託者の指示する事項
- (5) 点検等の周期の表記について
本契約における運転監視、日常点検及び保守等に係る周期は、別紙3のとおり。
- (6) 材料
保守に用いる消耗品は受託者の負担とする。
- (7) 定期点検時等の立会
業務従業員は、別契約の関連業者が行う定期点検・検査に立ち会うこと。
- (8) 臨機の措置等
 - ア 災害発生に対する措置について、業務担当員と協議の上、次の事項をまとめた防災マニュアルを作成し、委託者の承諾を受けること。
 - (ア) 緊急事態への準備
 - (イ) 緊急事態発生後の対応
 - (ウ) 業務の早期復旧
 - イ 災害発生に伴う重大な危険が認められる場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、業務担当員に連絡すること。
- (9) 機器等に異常を認めたときの措置
機器等に異常が認められた場合の連絡体制、対処方法について、業務担当員とあらかじめ協議して定めること。
なお、緊急を要する場合は、業務従事者は必要な措置を直ちに講じること。
- (10) 監視室等の清掃
監視室及びボイラー室等は、整理整頓及び掃き掃除程度の清掃を行うこと。
- (11) 障害等の排除
設備の運転中、点検及び操作・使用上の障害となるものの有無を点検すること。
- 3 空調機の温度及び湿度の適正管理
空調機の温度及び湿度を常に確認し、庁舎内の温度及び湿度を適正な管理を行うこと。
- 4 地下タンク点検
地下タンクの残油量について、始業前と始業後の消費量を液面計により確認すること。
- 5 医療ガス設備の点検
医療ガス設備（マニフォールド・吸引設備）について毎日点検し、異常がある場合は、委託者又は業務担当員に報告すること。
- 第6 業務処理上の留意事項**
 - 1 燃料、電力、用水等の使用に当たっては、極力その節減に努めること。
 - 2 機械室内、放熱器等を適宜、点検し、その整備に努めること。
 - 3 常に燃料等の残量を把握し、計画的に業務担当員にその補充を依頼すること。
 - 4 非常事態が発生したときは、職員等と連携し、適切な措置を講じること。
- 第7 報告**
契約書第8条に定める委託者の指定する書式は、別紙4「空調衛生設備等運転管理業務報告書」のとおり。
- 第8 その他**
この要領に定めのない事項については、必要に応じ委託者及び受託者が協議して定めるものとする。